

監第83号

平成22年4月22日

熊本県土木部長



平成22年度熊本県新分野進出モデル事業の募集について（依頼）
平素から県土木行政の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、建設投資の減少等建設産業の経営を取り巻く環境が厳しい中、本県では、建設事業者の新分野（環境、農業、福祉分野等）への進出を支援するため、別添「平成22年度熊本県新分野進出モデル事業実施要領」に基づき、標記事業を実施します。

本事業は、新分野への進出を計画されている事業者を公募し、モデル事業として選定された事業者に対して、専門アドバイザーを派遣し支援を行うものです。

また、複数の事業者で、進出の検討を合同で行われる場合等も対象とします。

つきましては、本事業の実施について貴団体所属の会員の皆様へ御周知いただきますようお願いいたします。

なお、本事業の実施要領及び申込書等については、県庁ホームページ（監理課）に掲載しております。

問い合わせ先

熊本県土木部監理課建設業班 米田

TEL:096-333-2485

FAX:096-381-5404

平成22年度熊本県新分野進出モデル事業実施要領

1 趣 旨

建設産業は、社会資本整備の担い手として大きな役割を果たすとともに、地域経済の活性化や雇用を担う重要な基幹産業となっています。

しかしながら、公共投資は大幅に縮小しており、競争が激化し、建設産業を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いています。

このような厳しい経営環境に適応していくためには、異業種間の企業連携や企業合併の検討、建設業以外の分野への進出などにより経営基盤の強化を図っていく必要があります。そのため、県では、平成16年に策定した「熊本県建設産業振興プラン」に基づき、建設産業の構造改善を図る観点から、建設業者の新分野（環境、農業、福祉分野等）への進出の取組みを支援する「新分野進出モデル事業」を実施します。

2 事業内容

- (1) 新分野への進出について県内建設事業者を対象にモデル事業を公募し、応募があった事業の中から選定した事業に対してアドバイザーを無償で派遣し、事業計画の策定、事業実施における課題の解決等に係る助言を行います。
- (2) モデル事業の取組みを県のホームページ等により紹介します。
- (3) 過去（平成16年度～平成21年度）に実施したモデル事業についても、応募があった事業の中から選定した事業に対してフォローアップとしてアドバイザーを無償で派遣し、事業者を支援します。

3 募集対象者

以下の要件を満たす事業者を対象とします。

- (1)平成22年度実施モデル事業（新規）
 - ① 県内に主たる営業所を置き、建設業を営む中小企業者（資本金又は出資総額が3億円以下の会社並びに従業員数300人以下の会社及び個人）
 - ② 建設業以外の新分野（環境、農業、福祉分野等）へ進出又は進出することを計画している事業者
- (2)平成16年度～平成21年度に実施したモデル事業（フォローアップ）
平成16年度から平成21年度に実施したモデル事業の事業者

4 実施方法等

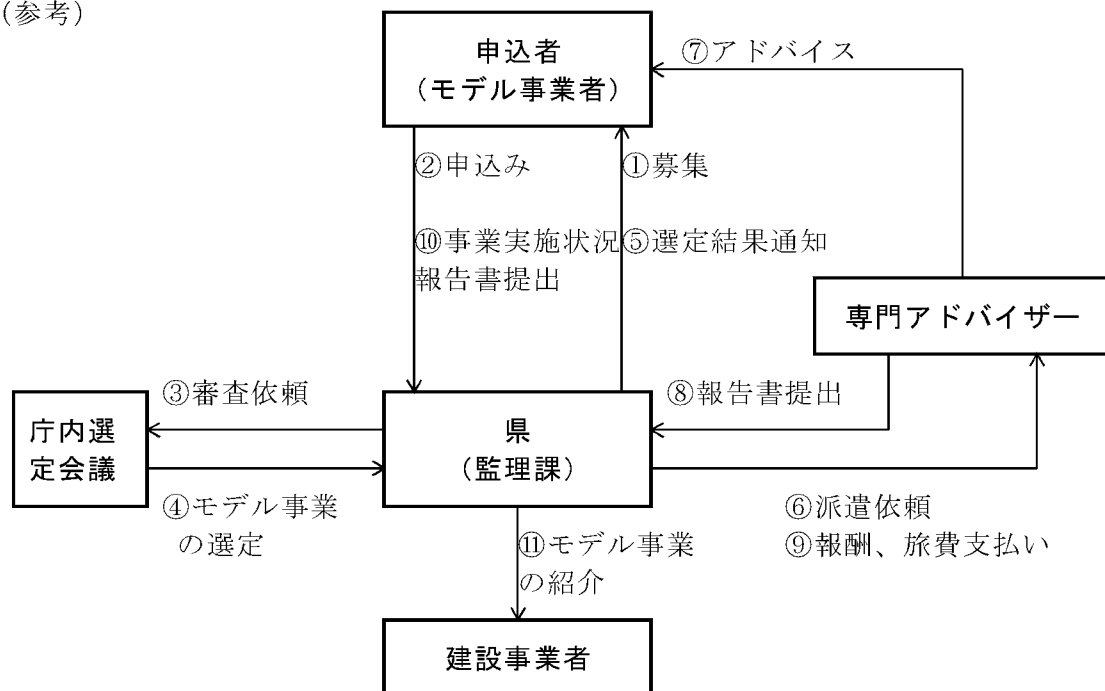
- (1)平成22年度実施モデル事業（新規）
 - ① 申込書の提出
専門アドバイザーの派遣を希望する事業者は、平成22年6月30日（水）【当日消印有効】までに熊本県土木部監理課建設業班に以下の書類を1部提出するものとします。
 - i 平成22年度熊本県新分野進出モデル事業申込書（別記第1号様式）
 - ii 決算報告書（貸借対照表、損益計算書）直近2期分
 - ② モデル事業の選定
庁内選定会議で検討のうえ、申込者の中から6件程度のモデル事業を選定します。
※庁内選定会議は、応募者の進出予定分野に関係する課で構成。
 - ③ 専門アドバイザーの派遣
モデル事業者に対して、専門アドバイザーを派遣します。（各事業者に対して8回以内）

- ④ 事業進出状況報告書の提出
 モデル事業者は、新規事業に進出後、熊本県土木部監理課建設業班に平成22年度熊本県新分野進出モデル事業に係る新規事業実施状況報告書（別記第2号様式）を1部提出するものとします。
- (2)平成16年度～平成21年度に実施したモデル事業（フォローアップ）
- ① 申込書の提出
 専門アドバイザーの派遣を希望する事業者は、平成22年6月30日（水）【当日消印有効】までに熊本県土木部監理課建設業班に以下の書類を1部提出するものとします。
- i 平成22年度熊本県新分野進出モデル事業（フォローアップ）申込書（別記第3号様式）
 ii 決算報告書（貸借対照表、損益計算書）直近2期分
- ② フォローアップモデル事業の選定
 庁内選定会議で検討のうえ、申込者の中から9程度フォローアップモデル事業を選定します。
 ※庁内選定会議は、応募者の進出分野に関係する課で構成。
- ③ 専門アドバイザーの派遣
 モデル事業者に対して、専門アドバイザーを派遣します。（各事業者に対して2回以内）
- ④ 進捗状況報告書の提出
 モデル事業者は、熊本県土木部監理課建設業班に平成22年度熊本県新分野進出モデル事業（フォローアップ）に係る事業実施状況報告書（別記第4号様式）を1部提出するものとします。

5 申込み及び問合わせ先

熊本県土木部監理課建設業班 〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号
 TEL 096-333-2485 FAX 096-381-5404

(参考)



(別記第1号様式)

平成22年度熊本県新分野進出モデル事業申込書

平成 年 月 日

熊本県知事 蒲島 郁夫 様

申込者
郵便番号
住所
氏名
TEL ()
FAX ()
担当者名 ()
印

平成22年度熊本県新分野進出モデル事業について下記のとおり申込みます。
記

①資本金 (又は出資総額)	千円	②営業 年数	年
③社員数	ア常勤役員 人	イ常時使用する従業員 (事務: 人: 技術 人)	人
④建設業の許可業種			
⑤進出予定分野及び 事業計画	進出予定分野 目的(理由)		
	事業内容		
	事業実施スケジュール(別紙も可)		

⑥組織体制(人材の確保、育成等)	
⑦施設・設備整備計画	
⑧資金調達計画 必要な資金(設備資金、運転資金)とその調達先について記載	(設備資金) (運転資金)
⑨専門アドバイザーから助言を得たい内容(課題)及び派遣希望時期(平成 年 月まで に8回以内)	※できるだけ詳しく記載願います。

注1) 直近2期分の決算報告書(貸借対照表、損益計算書)を必ず添付してください。
注2) 経営計画書(売上計画、収支予算(計画)書、返済計画等)等を策定している事業者は、併せて提出してください。

注3) 専門アドバイザーの派遣を受けたモデル事業者は、事業進出後、速やかに平成22年度熊本県新分野進出モデル事業に係る新規事業実施状況報告書(別記第2号様式)を熊本県土木部監理課建設業班に1部提出してください。

(別記第1号様式(記載例))

平成22年度熊本県新分野進出モデル事業申込書

平成 年 月 日

熊本県知事 蒲島 郁夫 様

申込者
郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇
住所 熊本市水前寺〇-〇〇-〇
氏名 〇〇建設株式会社 印
代表取締役 水前寺太郎
TEL 096-300-2111
FAX 096-300-1111
担当者名 ()

平成22年度熊本県新分野進出モデル事業について下記のとおり申込みます。
記

①資本金 (又は出資総額)	50,000千円	②営業 年数	30年																		
③社員数	ア常勤役員 5人	イ常時使用する従業員 30人 (事務:10人:技術 20人)																			
④建設業の許可業種	土木一式工事、建築一式工事																				
⑤進出予定分野及び 事業計画	進出予定分野 (産業廃棄物リサイクル処理業) 目的(理由) 建設投資の規模が縮小していくとの危機感から、経営の多角化や従業員の有効活用を図るため、新分野進出を検討している。 昨今の環境問題を踏まえて、産業廃棄物をリサイクル処理した新たな商品開発を行い、廃棄物の有効利用を促進し、環境負荷の軽減に寄与したい。 事業内容 現在、建設系産業廃棄物である「木くず」を有効利用した新商品開発を〇〇センターと連携して研究に着手し、現在、試作品(仮称:〇〇エコボード)作成の段階まで実施済みである。 今後、その試作品を商品化し、市場に流通させていきたいと考えており、市場が大きければ規模拡大も視野に入れて、事業を展開していきたいと考えている。 事業実施スケジュール(別紙も可) <table border="1"><thead><tr><th></th><th>H22</th><th colspan="4">H23</th></tr><tr><th></th><th>7月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>5月</th><th>9月</th></tr></thead><tbody><tr><td>市場調査 事業計画策定 新会社設立 資金調達 処理施設建設 開業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				H22	H23					7月	2月	3月	5月	9月	市場調査 事業計画策定 新会社設立 資金調達 処理施設建設 開業					
	H22	H23																			
	7月	2月	3月	5月	9月																
市場調査 事業計画策定 新会社設立 資金調達 処理施設建設 開業																					

<p>⑥組織体制（人材の確保、育成等）</p>	<p>社内にプロジェクトチームを設置し、調査、計画の策定を行っている。</p> <p>事業進出に当たっては、別会社を設立し、独立採算で事業開始を検討。</p> <p>従業員は、既存職員を活用（新会社へ転籍）することとしているが、廃棄物処理に精通した経験者を中途採用することも検討中。</p>
<p>⑦施設・設備整備計画</p>	<p>新たなりサイクル処理施設の建設と処理機器の購入</p>
<p>⑧資金調達計画 必要な資金（設備資金、運転資金）とその調達先について記載</p>	<p>（設備資金）</p> <p>投資予定額〇億〇千万円 自己資金で〇千万円、不足分については、県の制度融資や地元民間金融機関から〇千万円の融資を受けることを検討中。</p> <p>（運転資金）</p> <p>人件費〇千万円、維持管理費〇千万円、その他経費〇千万円計〇千万円を見込む。 自己資金で〇千万円、不足分について、県の新事業展開支援資金や地元民間金融機関から〇千万円の融資を受けることを検討中。</p>
<p>⑨専門アドバイザーから助言を得たい内容（課題）及び派遣希望時期（平成23年3月までに8回以内）</p>	<p>※できるだけ詳しく記載願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試作品が商品として流通可能なものかどうか。環境基準に照らし問題ない製品かどうかを確認したい。 ・現在の収支計画において、再検討すべき事項がないかどうか。 ・廃棄物処理業としての法的規制や許可手続きを教えてください。 <p>第1回：平成 〇年 〇月頃 第2回：平成 〇年 〇月頃 第〇回：平成 〇年 〇月頃 第〇回：平成 〇年 〇月頃 第〇回：平成 〇年 〇月頃</p>

注1) 直近2期分の決算報告書（貸借対照表、損益計算書）を必ず添付してください。

注2) 経営計画書（売上計画、収支予算（計画）書、返済計画等）等を策定している事業者は、併せて提出してください。

注3) 専門アドバイザーの派遣を受けたモデル事業者は、事業進出後、速やかに平成22年度熊本県新分野進出モデル事業に係る新規事業実施状況報告書（別記第2号様式）を熊本県土木部監理課建設業班に1部提出してください。

(別記第2号様式)

平成22年度熊本県新分野進出モデル事業に係る新規
事業実施状況報告書

平成 年 月 日

熊本県知事 蒲島 郁夫 様

郵便番号
住 所
氏 名 印

担当者氏名

このことについて、下記のとおり報告します。

記

(平成 年 月 日現在)

①事業開始時期	平成 年 月
②取組分野	
③組織体制	
④従業員への研修等	

⑤施設、設備の状況	
⑥投資額と資金調達の状況	
⑦事業化に至るまでの問題点と解決策	
⑧今後の課題	
⑨専門アドバイザーの助言内容等についての感想	

(別記第2号様式記載例)

平成22年度熊本県新分野進出モデル事業に係る新規 事業実施状況報告書

平成 年 月 日

熊本県知事 蒲島 郁夫 様

郵便番号 〇〇〇-〇〇〇
住 所 玉名市中〇-〇-〇
氏 名 〇〇建設株式会社 印
代表取締役 熊本太郎

担当者氏名 〇〇〇〇

このことについて、下記のとおり報告します。

記

(平成 年 月 日現在)

①事業開始時期	平成22年8月
②取組分野	地元町内に立地する老朽化した温泉ホテルを買収し、自社の得意とする建築技術により施設をリニューアルし、温泉ホテル経営へ進出
③組織体制	別会社を設立し、独立採算で事業開始 従業員は既存職員を活用（建設業からの転籍）するとともに、ホテル業の経験者、〇人を中途採用した。
④従業員への研修等	コンサルタントによる教育訓練の実施や外部機関主催の研修に参加

⑤施設、設備の状況	顧客のニーズや他ホテル等との差別化を図るため、活性炭を利用した部屋づくり、温泉施設の全面的な改築（サウナ、ジャグジー、露天風呂の新設）を行った。
⑥投資額と資金調達の状況	<p>（設備資金） 初期投資額〇億〇千万円 資金調達は、自己資金で〇千万円、不足分について、県の観光設備資金や地元民間金融機関から〇千万円の融資を受ける。</p> <p>（運転資金） 人件費〇千万円、材料費〇千万円、その他経費〇千万円計〇千万円を見込む。 自己資金で〇千万円、不足分について、県の新事業展開支援資金や地元民間金融機関から〇千万円の融資を受ける。</p>
⑦事業化に至るまでの問題点と解決策	失敗が許されない状況の中、収支計画に万全を期す必要があり、様々な調査を行うとともに、複数のコンサルタント等専門家のチェックを受けた。最終的には、投資額を当初計画よりもかなり縮小し、経営がうまくいかない場合にも撤退できる計画とし、進出を決断できた。
⑧今後の課題	今後、さらに、サービスの向上による差別化を進めていくとともに、新規の客を増やすためのPR方法を検討していく。
⑨専門アドバイザーの助言内容等についての感想	

(別記第3号様式)

平成22年度熊本県新分野進出モデル事業（フォローアップ）申込書

平成 年 月 日

熊本県知事 蒲島 郁夫 様

申込者
郵便番号
住所
氏名 印
TEL ()
FAX ()
担当者名 ()

平成22年度熊本県新分野進出モデル事業（フォローアップ）について下記のとおり申
込めます。

記

モデル事業選定年度	平成 年度
進出時期	年 月
進出分野	
取組状況	(売上状況、施設等整備状況、従業員状況、社員意識、今後の展開方針、スケジュール等について記入してください。既存の資料がある場合、別紙も可。)
専門アドバイザーから助言を得たい内容(課題)及び派遣希望時期(平成 年 月まで 2回以内)	※できるだけ詳しく記載願います。

注1) 直近2期分の決算報告書(貸借対照表、損益計算書)を添付してください。
注3) 専門アドバイザーの派遣を受けたモデル事業者は、事業進出後、速やかに平成22年度熊本県新分野進出モデル事業に係る新規事業実施状況報告書(別記第4号様式)を熊本県土木部監理課建設業班に1部提出してください。

(別記第4号様式)

平成22年度熊本県新分野進出モデル事業（フォローアップ）に係る事業実施状況報告書

平成 年 月 日

熊本県知事 蒲島 郁夫 様

郵便番号
住 所
氏 名 印

担当者氏名

このことについて、下記のとおり報告します。

記

(平成 年 月 日現在)

①事業開始時期	平成 年 月
②取組分野	
③組織体制	
④従業員への研修等	

⑤施設、設備の状況	
⑥投資額と資金調達の状況	
⑦事業化に至るまでの問題点と解決策	
⑧今後の課題	
⑨専門アドバイザーの助言内容等についての感想	